

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

1. 本園の教育目標

【理念】

仏教を通じて、人間形成の土台を作る

【方針】

園児が幸せな人生を過ごせるように、

「人間形成の土台を作ろうとする園児の手伝いをする」

【目標】

「明るく」「正しく」「仲良く」の3つが本園の教育目標です。

明るく(仏)・様々なことに興味・関心をもち、主体的に探求する

正しく(法)・良いことや悪いことを理解し、行動に責任を持つ

仲よく(僧)・慈悲の心、集団性を身につけ、調和のとれた生活をする

【～様々な体験を通じて～】

- ① 選択肢を広げ、視野を広げる
- ② 選ぶ力、考える力を体得する
- ③ 人とのかかわり方を体得する
- ④ 仏教の思想を感じ、身につける

子どもたちだけでなく、職員もこれらの力を互いに育てあえるようにすること目標とし、様々な課題について話し合いながら、みんなで作り上げていくことを目指しています。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

①教育課程の充実

ルンビニーの長い歴史の中で大切にしてきたさまざまな行事があります。行事はあくまでも幼児主体の幼児教育の一環であることを重視し、遊び中心の幼児主体の教育を充実させていきます。一方で、仏教保育はルンビニーの教育の中でも重要であり、さらなる充実をはかります。

②記録の充実

行事はあくまでも幼児主体の幼児教育の一環であることを重視し、遊び中心の幼児主体の教育を充実させていきます。一方で、仏教保育はルンビニーの教育の中でも重要であり、さらなる充実をはかります。

昨年度より取り組んでいるドキュメンテーションは行事だけではなく日々の園児のありのままの様子を記録して保護者に報告することができ好評を得ています。

③学びの充実

子どもたちの遊び=学びを充実させるために教諭の学びを深めることが重要です。教諭が幼児主体の保育に対する理解を深められるよう研修プログラムを組み、教諭が学んだことをきちんと理解して、日々の保育の中で実践できているかどうかの評価を行っていきます。

本年度は保護者からの要望も強い「英会話レッスン授業」を再開した。

以前は英会話課外授業として受講する園児もいたが、コロナ過にて閉鎖が続いた

園児の将来を考えると、語学の勉強は今後ますます重要になります。

幼少期には学習することよりも、ネイティブに慣れ親しみ、遊びながら楽しく学ぶことを目的に英会話授業を実施し、子供達も楽しく受講できた。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	自己評価	学校関係者評価	取り組み状況
1	教育課程の充実	A	A	全体的な計画を教諭自らの意見を出し合って作成したことに始まり、年間計画、学年ごとの月案・週案の充実をはかることができた。それらを元に遊びを中心とする保育・幼児教育を行い、さらに記録につなげていくことができた。
2	記録の充実	A	A	ドキュメンテーションの取り組み。子どもたちの発達の過程を教諭がしっかり理解することに繋がると同時に、保護者の保育に対する理解も進み、非常に大きな効果が見られた。
3	学びの充実	A	A	Golingoイングリッシュ ネイティブ講師による、英語レッスンを行った。 会話を重視ではなく、「外国人」に慣れることを主眼にスタート。 後期にはボードや道具を使ってゲーム感覚で学べる工夫を行った。 子供たちも楽しく学習できていた。来年度も継続の予定

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

	自己評価	学校関係者評価	理由
1	A	A	コロナ過が終わり、様々なことが復活してきた。しかし、以前とは異なり新たな取り組みとしての復活感が強く感じられた。以前より遊びの要素を多く取り入れ、より子供たちが中心となってすべてを進めていく取り組みへと進化している。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み
1	教育課程のさらなる充実	今年度も教諭らが検討し教育目標を作成しましたが、自らが自発的に年間を通じた教育目標を作成し、充実させていくことを目指します。
2	ドキュメンテーションからプロジェクト型保育の実施	昨年度より実施したドキュメンテーションは、保育においても、保護者との情報共有においても非常に有効性が高いことが示されました。そこで来年度はさらにドキュメンテーションを充実させるとともに、子どもたちの間から湧き起こる疑問を学びへと展開・昇華させる「プロジェクト型保育」への取り組みを実施したいと考えています
3	公開保育の実施	公開保育を実施し、他園からの参観者を集める研究会等を実施したいと考えています。また、同時に幼児教育実践学会、ECEQ等、全日私幼が主導する研究プログラムにも参加し、さらなる保育の質向上を目指していきます。

6. 学校関係者評価委員の評価

須賀 理 委員

昔からルンビニーは教育熱心な園であるが時代の流れに応じての変化を感じている。特に記録の充実にて実施されているドキュメンテーションはとても楽しく拝見している。昔は写真を撮りそれを教室前に貼るということが当たり前であったが、デジタル時代にあったこのサービスはとも便利である、特に写真データをそのまま保存すれば簡単に思い出が残せることが良い。

渡辺 稔彦 委員

今年度より英会話教室が再開と聞いており、結果を楽しみにしていました。園児全員が楽しく授業を受けられ当初目的の「ネイティブ」に慣れるについては目的達成と思います。今後も継続して英会話教室を開催することを期待しています。

7. 学校関係者評価委員会のメンバー

学校法人明福寺ルンビニー学園 評議員

須賀 理 様

渡辺稔彦 様

令和6年4月

学校法人明福寺ルンビニー学園

理事長 福井徹人